

小来川地区内公共施設適正化検討専門部会会議概要

件名	第二回小来川地区内公共施設適正化検討専門部会		
日時	平成31年3月14日(木) 18:00~19:50	作成日	2019年3月18日
場所	小来川林業研修センター 2階多目的ルーム	記録者	管財課 斎藤
出席者			
<日光市> 神保管財課長 星公共施設マネジメント推進室長 管財課公共施設マネジメント推進室職員 高梨小来川地区センター長		<専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙) (敬称略)	

会議概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

「皆さんこんばんは。今日は第2回目の検討専門部会ということで、夕方の時間で皆さんお疲れのところ大変ご苦勞さまでございます。前回は市の説明を受けまして、今回からグループワークとなりますが、市の方針は市の方針として、それに囚われないで良いということなので、私達はこれからここで生活していく訳ですから、ここは問題があるとか、今後こうして行きたいとかそういった話が出来れば良いと思っています。どうぞ活発なご意見をよろしくお願ひいたします。」

3. 議事

○グループワーク

- ▶ 専門部会におけるグループワークでの作業について、事務局より説明
- ▶ 西尾アドバイザーの進行により別紙3グループに分かれて作業

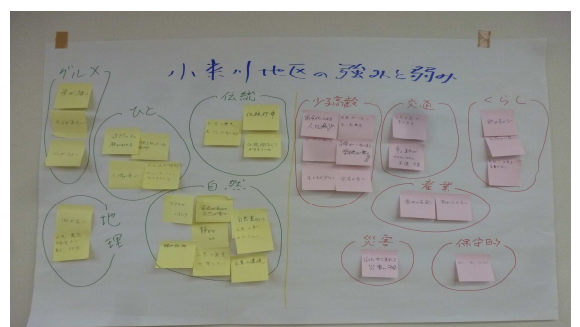
- 今回のグループワークでは全体として、10年後、20年後の小来川地区をどんな地区にしたいのかどんな「まち」にしたいのかという地区の将来像について話し合う機会としたい。施設というのはあくまでも手段であるので、地区としてこんなまちにしたいという思いがあって初めて、そのために施設をどうしたら良いかという考え方になると思います。

【全体テーマ：「10年後20年後の小来川地区をより良くするためにどうすれば良いか」】

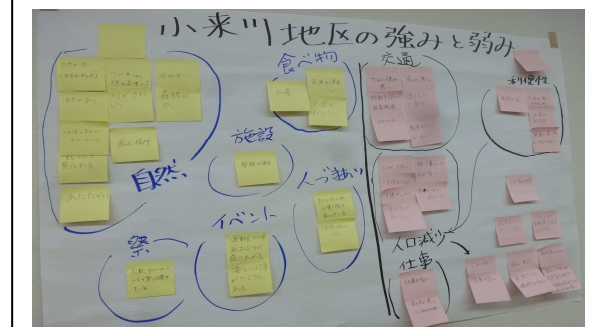
▶ 前半グループワーク：小来川地区の強みと弱み

- ・ 小来川地区の強みと弱みを個人で付箋に書き出し、グループ内で同じような意見を集めて、それぞれグループピングしたのに見出しをつけて分類しました。
- ・ 黄色の付箋が「強み」、ピンク色の付箋が「弱み」として色分け。

■ Aグループ

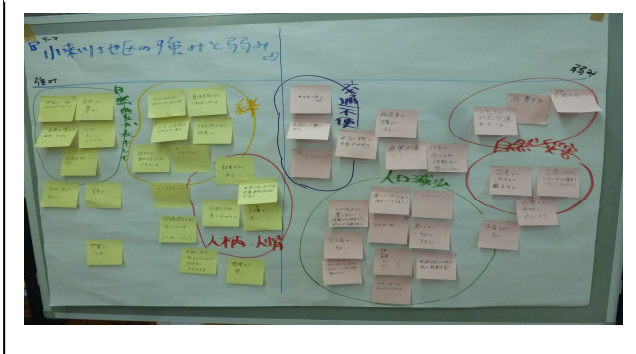


■ Bグループ



会議概要

■ Cグループ



小来川の“強み”（3グループほぼ共通）

- * 「自然」・・・景観、環境の良さ、水がきれい。
 - * 「食」・・・美味しいものがたくさんある。
 - * 「人柄」・・・人が良い、人情が深い、絆が深い。
 - * 「伝統」・・・伝統行事、イベント、祭りを大切にしている。
- 等の意見が多く見られた。

小来川の“弱み”（3グループほぼ共通）

- * 「少子高齢化」「人口減」・・・若者が戻らない、空き家が多い。
- * 「生活環境」・・・公共交通、インフラ整備（道路）が不便。買い物・病院等が遠く、生活が不便。
- * 「産業」・・・農業・林業の衰退。働く場がない。

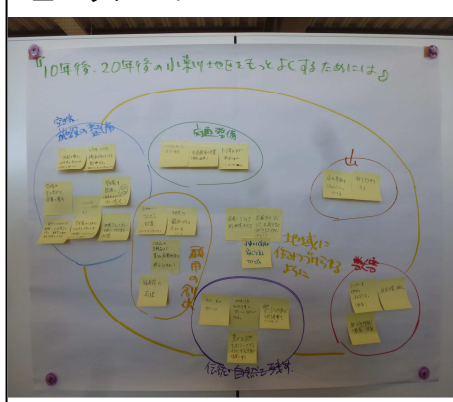
▶ 西尾アドバイザー

- 地区の強み弱みそれぞれ共有をしていただいた。こんな良いところがある、こんな心配がある等の意見が出たと思う。それを踏まえて次の作業をしていただく。前半のグループワークの作業を踏まえて、どうして行ったら良いかという対策を考えていただきたい。
- 今回のテーマである10年後20年後の小来川地区をもっと良くするためにどうすれば良いのか。強みは伸ばしてということになると思うので、強みを伸ばしていくためにはどうして行ったら良いか。逆に弱みは改善したり、克服したりしなければならないので、どちらの観点でも構わないので、強みを生かすためには弱みを克服する。今後10年後20年後の地区をもっと良くするためにどうしたら良いかという対策について考えていただきたい。

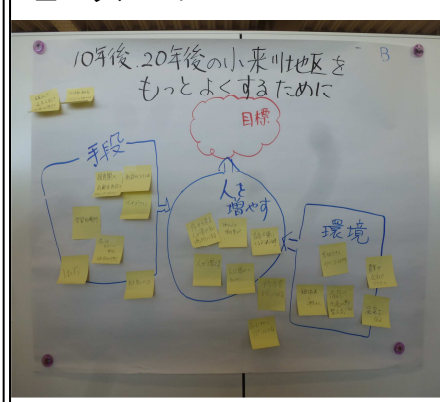
▶ 後半グループワーク：10年後20年後の小来川地区をもっと良くするためにどうすれば良いか

- ・10年後20年後の小来川地区をもっと良くするための方策を個人で付箋に書き出し、グループ内で同じような意見を集めて、それぞれグルーピングしたものに見出しをつけて分類。

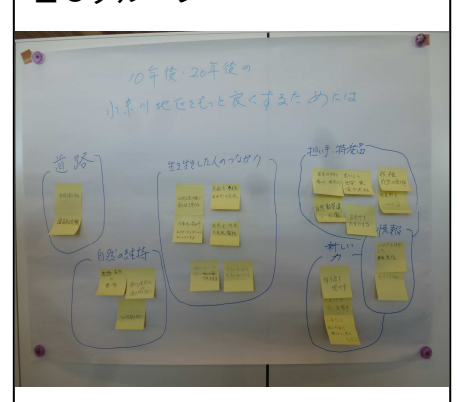
■ Aグループ



■ Bグループ



■ Cグループ



▶ グループワークまとめ（発表）

- ・グループワークの中で意見交換した10年後20年後の小来川地区をもっと良くするための方策について重要なものを上位3つ選んでグループごとにまとめる。
- ・グループごとに発表。
- ・発表後に投票を行う。（1人3票で、自分の班の意見に投票できるのは1票まで）

会議概要

■ Aグループ

重要なこと上位かつ	設置
施設の整備(空き家、商業施設、公園等)	●●●●●●●●●●
交通整備(公共の乗り物、道路整備 etc)	●
雇用の創出	●
その他残しておきたい	
自然: 伝統	

小来川の魅力・・・自然が豊かで水がきれい、人的には人情が深くて絆が強く、行事や事業に協力的である。
反面、小来川の弱み・・・交通が不便、獣害が多い、自然災害が多いというようなことがあり、人口が減少し、若者が少なく高齢者が多い、空き家が多いという問題がある。
Aグループでは、やはり**人が増えないとだめ**ということで、あるいは**若者が残ってくれるような魅力のある地域にするにはどうしたら良いか**ということから方策を考えた。

- 「施設の整備(空き家、商業施設、公園等)」・・・空き家対策、空き家等を活用して、外からも来てもらえるようにする。地区内にお店がなくなってしまったので、そういった商業施設(お店)を復活する、あるいは、新しいものをよぶとか。来た方も利用出来るような公園等の施設の整備をしていく。
- 「交通整備(公共の乗り物、道路整備 etc)」・・・施設整備のためには、交通の整備ということで、道路と合わせて、バスやそれに代わる交通網、新しいものを整備しないと、子供や高齢者は生活(買い物や病院など)が厳しいということで、交通の整備が重要と考えました。
- 「雇用の創出」・・・若い人が不便という一つには、当該地区以外に勤務先があって、小来川から通わなければならないということがあるので、雇用をこの地区内で生み出していないとならない。かつての林業、農業のように、ここで働ければ、特に女性は子育てしながら仕事ができるということで、近くに職場があることは魅力的なこと。出来れば地域の良い資源を生かした雇用の創出をしていきたい。残していきたいものは「自然」地域のみんなで守りながら残していく、今までもあった伝統文化の継承もやっていくべきだと考えました。

■ Bグループ

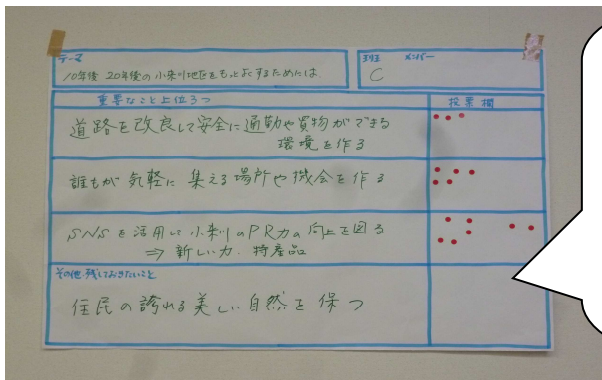
重要なこと上位かつ	設置
自然をアピールして人をよぶ。	●●●●●●●●●●
働く場所をつくる。	●●●●●●●●●●
インフラを整備する。	●●●●●●●●●●
その他残しておきたい	
人口を増やす。若者が戻る場所にする	

10年後20年後の小来川地区を良くするための最終的な一番の目標「**人口を増やす**」「**若者が戻ってくれる場所を作る**」ということが必要と考え、そのための方策として・・・

- 「自然をアピールして人をよぶ」・・・小来川には美味しいもの、自然など、良いものがたくさんある。それらの小来川の魅力をネット等(SNS)の周知媒体を活用して、小来川以外に広く発信していく。
- 「働く場所をつくる」・・・小来川から若者が離れる、戻ってこないというのは、生活基盤が地域内に無いから。では、働く場所を作るにはどうしたら良いのか、可能なこととして、農業を会社組織として出来ないか。空き家もたくさんあるので、空き家バンクに提供する。移住者を受け入れやすい環境を整えるなどの案が出たが、とにかくここに働く場所を作っていけば、若者も他からも人が来るのではないか。
- 「インフラを整備する」・・・自然をアピールして人をよんだり、働く場所をつくるにしても、道路の整備は不可欠だと考えた。小来川までの足というと車以外ないので、最低限2車線の道路がきちんと整備されている必要がある。

会議概要

■ Cグループ



皆さん考えていることは大体同じだと思う。強みの部分では「自然」が魅力ということ、弱みの部分では「少子高齢化」「人口減」ということ。

どのグループでも同じような意見が出ていたが、Cグループとして、10年後20年後の小来川地区を良くするために考えた方策は・・・

- 「道路を改良して安全に通勤や買い物ができる環境を作る」・・・他から来る人も小来川に来やすくなる、不安のない道路を造るのが一番ではないかという意見になった。
 - 「誰もが気軽に集える場所や機会を作る」・・・小来川地区内で色々な人の意見を吸い上げる機会が少ないと思うので、そういった機会とか、今までの伝統行事等もあるが、もっと気軽に集える場所や機会を作るとのこと。
 - 「SNSを活用して小来川のPR力の向上を図る⇒新しい力、特産品」・・・今の情報ネットワーク媒体、SNS等を活用して、小来川をPRして、どんどん新しい力と、地域独自の特産品を作って、それを広くPRして、皆さんに来てもらう場所にする必要がある。
- 小来川の美しい自然をいつまでも残して、小来川住民みんなが誇れるまちにすることが一番大切。

▶各グループ発表後、一人3票で、良い方策と思うものに投票を行いました。

▶西尾アドバイザー（グループワークを振り返って）

- 皆さんに投票していただいたなかで、一番票を集めたのが「働く場所を創る」という方策。皆さん、人口減少している、若者が定住しないということを課題として挙げられていたので、そのためには「働く場所が必要」ということと感じている。「雇用の創出」も同じ意見として合わせると11票。これが一番大事なこととして捉えられているかと思う。
- 続いて多かったのが、「施設の整備」という方策。次回以降、公共施設の問題にフォーカスしていきますが、空き家、商業施設、公園と色々な要素がありますが、施設の整備ということが大事だと感じているということ。場合によっては、施設という概念の中に、交通とかインフラ、道路とか共通してあると思いますが、これも合わせると7票位になるので、施設の整備とか、交通、道路の整備と言ったインフラとかハードの環境の整備ということも大事だと捉えられていると思います。
- 次に多いのが、「SNSを活用して小来川のPRの向上を図る」という方策ですが、これは特徴的なご意見かと思いますが、「自然をアピールして人をよぶ」という票も同じような意見になると思います。最初に皆さんに強み、弱みを出していただいた時に小来川の強みとして自然がとにかく良い所だという意見がどのグループでも出ていたので、その良いところをアピール、PRしていけば、自然と良いまちになっていくのではないかと。せっかく良いものがあるのだから、それをもっと知ってもらおうアピールするということが大変だと言うことを皆さん感じていると思います。
- ここに出ているのは、どうしてもまとめていただいたので、抽象的にまとまってしまっているが、中身については個別の面白い意見も出ていたと思いますので、そういったものもこれからとりながら考えて行く必要があるかなと思います。
- 一つ感じたことが、小来川の強みとか良い所で皆さん出していただいたなかで「自然」が凄く多かったというのもあったのですが、一番多かったのは、「ヒト」ではなかったかと思う。

会議概要

各グループ、「人づきあい」とか「絆」「人柄、人情」というような人に関するものが多くあった。私も前回から初めてこちらに入って、前回、今回と皆さんと接しているなかで、人が凄く良いということを感じる。小来川の本当の一番強みの一つである「人」とか「繋がり」とか「人情」とか、そういったものを生かしてまちを良くしていくという観点がもう少し出てきて良いのかなと言う気がしました。

●「誰もが気軽に集える場所や機会をつくる」という交流とかコミュニティづくりを促進するという意見もありましたが、せつかくの良い資源である「人」を生かしていく。市、行政がやるべきこともあります。市民、住民がやっていけることというのも中に位置付けていくと、より良いまちづくりに繋がるのかなと思います。

●今回のテーマとしては10年後20年後という形だったのですが、ここももう少し具体的にイメージすると良いかなと思いました。何となくぼやっとした未来を考えるのではなく、10年後20年後、皆さんが今から10、20歳をとった時の状況を思い浮かべながら、その時にこの地区をもっと良くするためにはどうすべきかという観点ももって、次回以降の検討に活かしていけると良いと思いました。

以上

4. 閉会